

(様式1)

令和元年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県民小劇場 文化振興課

2 施設所在地
富山市桜町1-1-61

3 施設設置年度
昭和62 年度

4 設置目的
県民の文化の向上と芸術の振興を図ることを目的とする。

5 施設概要
①建物の構造 鉄筋コンクリート造(マリエとやま6・7階)
②建物面積 609.18㎡(富山ターミナルビル(株)より賃借)
③施設内容 多目的小ホール(最大200席、200㎡)、会議室(62㎡)
④開設 昭和62年9月

6 指定管理者
公益財団法人富山県文化振興財団

7 指定期間
5 年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

H27	H28	H29	H30	R1
20,197	20,870	20,249	18,129	17,685

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H27	H28	H29	H30	R1
9,198	9,804	9,158	9,038	9,369

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H27	H28	H29	H30	R1
8,867	8,868	8,868	9,282	9,402

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

3月は新型コロナウイルス感染拡大防止を理由としたキャンセルが多く、利用者人数の減少につながったが、年度全体で見ると民間企業による興行公演や研修会利用が増えたため、平成30年度に比べ増収となった。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・ホール利用者に高度な舞台技術を提供できるよう、舞台音響・舞台照明の資格を持つ職員を配置している。
- ・平成26年度から予約システムによる施設予約情報のホームページへの掲示やクレジットカード・電子マネー決済の普及を図っている。
- ・平成25年度から主催者向け駐車場利用料金割引サービスを引き続き実施している。
- ・平成30年度にリニューアルしたインターネットチケット販売システム「アーツナビ」を活用し、インターネット上での決済、コンビニエンスストアでの発券を可能にしている。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・平成26年度から施設のリアルタイムな予約情報をホームページに掲載し、空き日利用の促進を図っている。
- ・次世代を担う子供たちの芸術文化の鑑賞機会の充実を図るため、平成28年度から「親子（未就学児）のためのクラシックコンサート」を実施している。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間：通年、実施方法：入場時にアンケート用紙を配布
回答者数	290人
結果	総合的満足度 94.6%
結果を踏まえた改善事項	好評につき特になし

② その他利用者の声を反映させる取組み

- ・ホームページのお問合せフォームや文化事業開催時のアンケートにより利用者の声を収集している。

③ 主な苦情と対応

- ・客席の明るさが足りない。
⇒臨時の照明設備を使用し対応した。
- ・楽屋に設置されている舞台進行確認用テレビの映りが不鮮明である。
⇒既存の設備を最大限調整し対応した。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報管理する責任者が決められ、適切に管理されている。

(6) 関係団体との連携

- ・平成30年度からロビーに県内観光パンフレットスタンドを設置し、観光PRに取り組んでいる。
- ・富山県公立文化施設協議会の加盟施設と連携協力し、チラシ折込み・設置、ポスター掲示などを互いに行い、企画事業の周知広報を行った。

(7) 施設・設備の維持管理

・適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

・舞台や音響・照明設備等の点検チェックリストを作成し日常から安全点検を徹底した。
・非常時のマニュアルや連絡表を作成するとともに、各種機器の点検を着実に実施した。
・ビル管理者の富山ターミナルビルが年2回実施している自衛消防訓練に参加した。
・新型コロナウイルス感染症対策として手指消毒用アルコールを設置した。

10 所管課の管理運営確認状況

	有/無	回数(有の場合)
①定期報告の受理	有	12
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認	有	2
③個人情報に関するトラブルの有無	無	—
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無	無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無し

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・開館して32年が経過し老朽化している施設設備については、故障等により利用者サービスの低下につながる恐れがあることから、計画的に緊急度の高いものから更新を行っていく必要がある。
・引き続き小劇場空間の利点を生かした企画事業(発見ライブ等)を通じて、施設の魅力を広くアピールすることが重要である。
・新型コロナウイルス感染症を理由に減少した利用の回復に取り組む必要がある。

別表 富山県民小劇場

	ホール	会議室
27年度	67%	33%
28年度	65%	38%
29年度	57%	43%
30年度	62%	44%
元年度	57%	41%